

事業所名

放課後等デイサービス WOWの樹 ちぐさだい

支援プログラム

作成日

令和6年

10月

1日

法人（事業所）理念		ひとり一人にあったペースで、一つひとつの「できた！」と一緒に喜び、自立に向けての自信を積み重ねていけるよう支援する✪									
支援方針		遊びを通じて、楽しみながら生活に必要な基本的動作や社会的なルールが身につけていきます。お子さんの「強み」と「弱み」を理解し、スモールステップで色々な体験をする中で、できる「強み」を増やしていく。大きな集団の中ではできないことでも、小さな集団や職員と向かい合っ、回を重ねていくうちにできることがあります。小さな成長を認め伝えて、一緒に喜ぶ。そんな成功体験の積み重ねが自信となって、次のステップに進めるきっかけになるよう、一人ひとりのお子さんに寄り添って支援していきます。									
開所時間		登校日	下校時	から	17時	30分まで	送迎実施の有無	○あり	なし	(送迎範囲などで出来ない場合あり)	
		休校日	10時	から	16時	まで					
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	来所後の検温、及び適時検温を行い、普段と変わらないか、健康状態を把握する。 基本的な生活の技能の獲得を発達段階を把握して支援（手洗い・排泄・身の回りの片付け・着替え・食事に関わる準備及びマナー・買い物練習など）									
	運動・感覚	ダンスや体操・体を使う遊び（室内アスレチック・忍者ゲーム・公園遊び・トランポリンなど）の中で、姿勢の保持や身体機能の維持・向上を図る。 制作活動や遊びを通して、お子さんに合った微細運動（指先の細かい動き）がスムーズにできるよう支援する。場面に応じて、クールダウンできる環境の準備。									
	認知・行動	日付や時間の認識・空間や色の認識などの理解を生活の中で養っていく。特性やこだわりを配慮し、適切な行動がとれるよう支援する。									
	言語 コミュニケーション	言語や言語以外のコミュニケーション方法を習得できるよう努める。相手の気持ちの理解に努める姿勢（相手の立場に立って考える）や、思いを相手に伝える練習をしていく。 特性により起こる生きづらさや疲れを理解し、寄り添って、感情のコントロールができるよう向き合っていく。語彙数が増えるよう、言葉・文字の習得を支援する。									
	人間関係 社会性	肯定的なメッセージ・シンプルな伝え方を心掛け、集団活動に必要なルールの理解を促していく。 人と共に、同じことを楽しめる気持ちを育てていく。									
家族支援		来所時に記入する連絡帳や送迎時など日々の様子や出来事、悩みなどを共有していきながら助言、提案をする				移行支援		保護者の相談等がある場合、進学先の相談、提案、進学時の書類作成に協力する			
地域支援・地域連携		保護者の承諾をもらい、他デイや学校などと利用児の情報を共有していき、より良いサービス提供が出来るよう実施する				職員の質の向上		定期的なミーティング実施・各職員のスキルに合わせた外部研修への参加（不参加だった職員に研修内容を共有）・各職員の興味のある研修への参加			
主な行事等		春休み（お花見・お楽しみ会）夏休み（社会科学見学・遠足・調理実習・水遊び・WOWの樹祭り）冬休み（クリスマス会・BBQ）ハロウィンパーティ等の実施 他、休日利用日に外出活動やイベントの参加 避難訓練や不審者対策訓練等実施									その